

観賞客を高校生や列車がお出迎え

ホタルまつり in なかどまり

滝ノ沢ふるさと砂防愛ランドにある「ホタルの里」で7月7日(土)・8日(日)の2日間、すっかり恒例となった「ホタルまつり in なかどまり」が行われ、観賞客約1200人がホタルの光を楽しみました。



【中里高校生がバスガイド】

まつりには、今年もシャトルバスのガイドとして、中里高校生のべ25人が参加。バス内での約10分間を、ホタルの話題で盛り上げ、乗客から拍手を受けていました。

また、津軽鉄道ではホタル列車を運行。ホタルの種類やエサの紹介など、アテンダント2人が手づくりの資料を交え、分かりやすくホタルのことを説明していました。

まつり会場では、多くの出店のほか、ホタルのエサとなる「カワニナ」の放流や、健康ダンス「べえ子ちゃん」のショーなど、盛りだくさんの内容で観賞客をもてなしました。

ボランティアでバスガイドを行った中里高校2年の柏崎紗希さんは「去年バスガイド



【ホタル列車内】

をやってみると楽しくて、もう1回やろうと参加した。ペアになった役場の人が、お姉さんみたいで頼もしく、今年も楽しかった。来年もぜひやりたい」と感想を話していました。

町管工事業協会が奉仕 豊岡地区排水処理センターを草刈り

水道管工事業者などで組織する町管工事業協会(会長塚本壯恆)が7月6日(金)、豊岡地区にある農業集落排水処理センターの草刈りを行ってくれました。

この奉仕活動は、昨年から同協会が始めたもので、地域のための貢献活動を通じて、きれいなまちづくりを進めようとしているものです。この日は、会員12社から10数人の作業員が集結し、長く伸びた草を刈り取ったり、刈り取った草をトラックに積んで運び出す作業が行われていました。

暑い中で行われた作業でしたが、参加者は手際よく刈り取り・片付けまで行い、作業は約2時間で終了しました。



中体連県大会で好成績

中里中の生徒11人と外崎校長、新岡先生が7月19日(休)に役場を訪れ、東北・全国大会に出場する生徒たちの成績を町長に報告しました。

7月14～17日にかけて行われた県中体連夏季大会では、柔道や陸上、ソフトテニス、水泳といった

競技で次々と好成績を収め、同校では全国へ1人、東北大会へ26人もの出場者を出しました。

全国出場を果たした今健瑠くん(同中3年)は「減量がきつかったけど、優勝できてよかった。全国でも優勝目指す」と意気込みを語りました。

このような好成績に外崎校長は「保護者や地域の人たちの協力があつてのこと。練習の成果を出し切った結果だと思う。東北・全国でも優勝目指してがんばってほしい」と話し、町長も「スポーツは人づくりの基礎。町もできる限り応援したい」と健闘をたたえていました。

■全国大会出場

○柔道 今健瑠③

■東北大会出場

○柔道 今健瑠③／奈良翔太③／大橋芽依③

○陸上 加藤登夢③／宮越晃一①

／古川真人③／三上智暉③／高松紘生③／大屋義浩②／佐々木大空②／奈良響①／長峰光太③

／外崎達矢③／岡駿岳②／小野海斗①

○ソフトテニス 小山内実来③／

海斗①

中里中生徒の快挙続々

全国・東北大会出場者が町長へ報告、吹奏楽部は県大会へ



吹奏楽部は中里高校と合同で県大会へ

青山ほのか③／菅原穂香③／工藤莉子③／長利美穂③／長利美里③／古川紗矢香②／葛西萌瑚②／田中大夢②／坂田拓陸②

※○数字は学年

また、文化部である吹奏楽部も初の快挙達成です。7月7日(土)に行われた県吹奏楽コンクール弘前

地区大会に、今年は中里高校の吹奏楽同好会と一緒に「高校合同の部」へ出場。見事金賞を獲得し、県大会への切符を手に入れました。弘前地区大会としては、同部門へのエントリー自体が初めてで、さらに金賞獲得というチャレンジ精神が実った結果でした。

指揮をとった川村先生は「一緒に合わせる回数が少なかったが、(同僚の)三戸先生が緻密に練習を積み重ねてくれたおかげで、安心して指揮できた」とコンクールの感想を話しました。

また、実際に演奏した中里高校・中里中吹奏楽部の両部長は「いつも大会のたびに緊張していたが、今回はワクワクして出場できた。金賞という結果でもうれしい。県大会に向けてしっかり練習したい(中里高校3年 横野翔部長)」

「最初は不安だったけれど、ステージが終わってすっきり、ほっとした。県大会でも金を目指し、秋の吹奏楽祭へつなげていきたい(中里中3年 佐々木玲子部長)」と県大会に向けての抱負を語りました。